

直近の家庭用牛乳乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ：次回発信日は9月1日週報(予定)

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《～家庭内消費は引き続き前年を下回る～業界内外で一体感を持った積極的な需要拡大を》

- ・8/15週の牛乳類の家庭内消費は、依然として前年を下回る傾向となっているものの、販売個数は前週(8/8週)よりも増加し、減少率も縮小した。牛乳については前年をやや下回る水準まで回復し、コロナ禍前の2019年実績を上回った。8/15週は全国的に天候が不安定であった中で、大消費地である関東、京浜地区は比較的天候に恵まれていたことが消費を後押ししたと考えられる。
- ・ヨーグルト類については、ドリンクタイプは前年を上回っている一方で、個食、大容量タイプは下回った。販売個数は全品目総じて前週よりも増加した。
- ・エネルギー価格や原材料費の上昇、円安等のコスト上昇による食料品値上げの動きは続くと思われる。家庭内における牛乳乳製品消費にも影響を及ぼしている可能性が高い。一方で、向こう1ヶ月の気温(8/20～9/19)は関東から西にかけて平年よりも高くなると予想されており、学校給食牛乳の再開も相まって飲用需要の増加が期待される。
- ・今後、台風等の影響も想定しつつ、広域生乳輸送や小売・流通等の体制整備を実施し、飲用需要に対する安定供給を図るとともに、生乳需給の緩和状況の中、夏場に増加した需要を維持するためにも業界内外を巻き込んだ更なる消費拡大の取り組みが一層重要となる。

【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI+】

(1)直近動向(表①参照)

・直近(8/15週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：同99.4%、成分調整牛乳：同95.8%、加工乳：同98.5%、乳飲料：同97.9%。

牛乳類トータルでは同98.9%

※参考：2020年度比は、牛乳：93.5%、成分調整牛乳：93.7%、加工乳：93.6%、乳飲料：84.5%(牛乳類トータル：92.1%)

※参考：2019年度比(コロナ禍前)の牛乳販売個数は102.9%。

・販売単価は、牛乳：190.4円、成分調整牛乳：174.6円、加工乳：191.2円、乳飲料：149.6円。

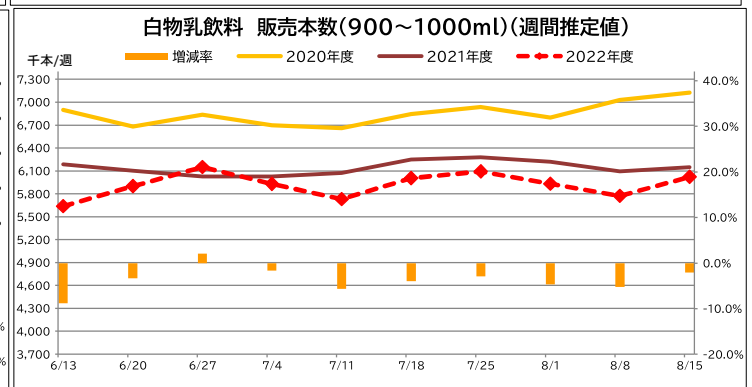
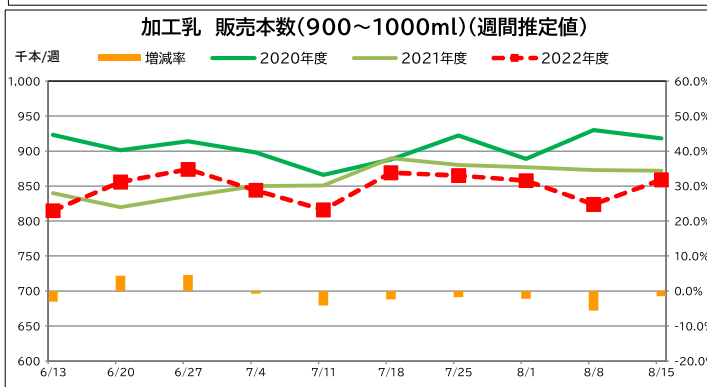
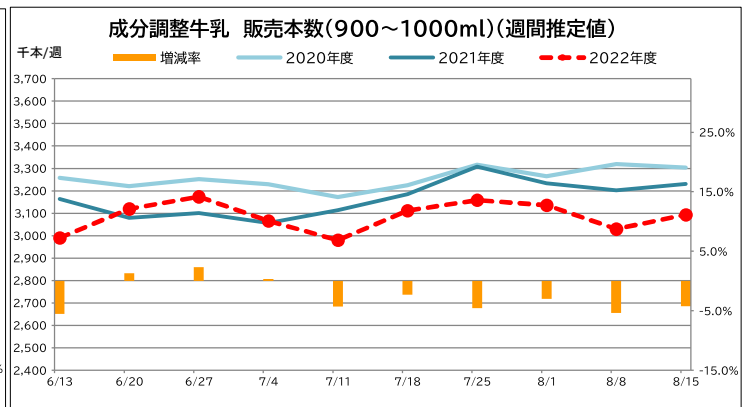
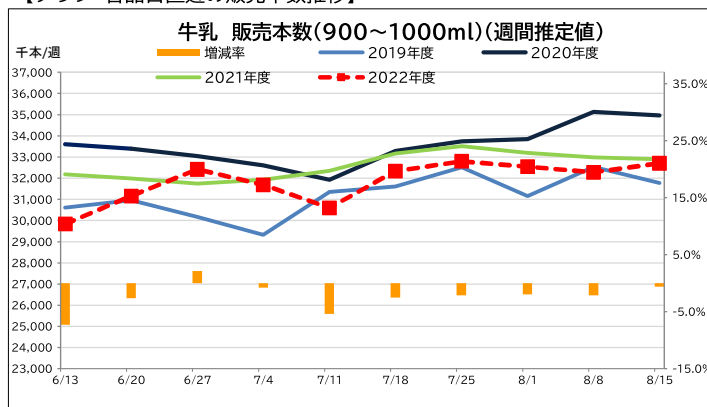
※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位：千個、円)

品目	区分	6.27-	7.4-	7.11-	7.18-	7.25-	8.1-	8.8-	8.15-
トータル	販売個数	42,618	41,519	40,121	42,317	42,911	42,471	41,902	42,674
	販売個数前年比	102.2	99.2	94.7	97.3	97.6	97.6	97.1	98.9
	販売単価	182.8	182.9	183.0	183.0	183.1	183.8	184.2	183.5
牛乳	販売個数	32,421	31,683	30,594	32,332	32,795	32,546	32,274	32,700
	販売個数前年比	102.2	99.2	94.6	97.5	97.9	98.0	97.9	99.4
	販売単価	189.7	189.7	190.0	189.8	190.0	190.6	190.9	190.4
成分調整牛乳	販売個数	3,174	3,066	2,980	3,112	3,158	3,136	3,030	3,094
	販売個数前年比	102.4	100.3	95.7	97.7	95.5	97.0	94.6	95.8
	販売単価	174.1	174.4	173.7	174.2	174.5	174.3	175.1	174.6
加工乳	販売個数	874	844	816	869	865	858	824	859
	販売個数前年比	104.4	99.3	95.9	97.6	98.3	97.9	94.5	98.5
	販売単価	190.5	190.4	190.2	190.5	190.4	190.2	191.2	191.2
乳飲料	販売個数	6,149	5,927	5,730	6,004	6,093	5,931	5,773	6,021
	販売個数前年比	102.1	98.3	94.4	96.0	97.0	95.4	94.8	97.9
	販売単価	149.8	149.6	149.6	149.5	149.6	150.1	150.1	149.6

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(8/15週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比100%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)ドリンクタイプは前年を上回っているものの個食タイプ、大容量タイプは前年を下回った。全品目通じて販売個数は前週よりも増加した。

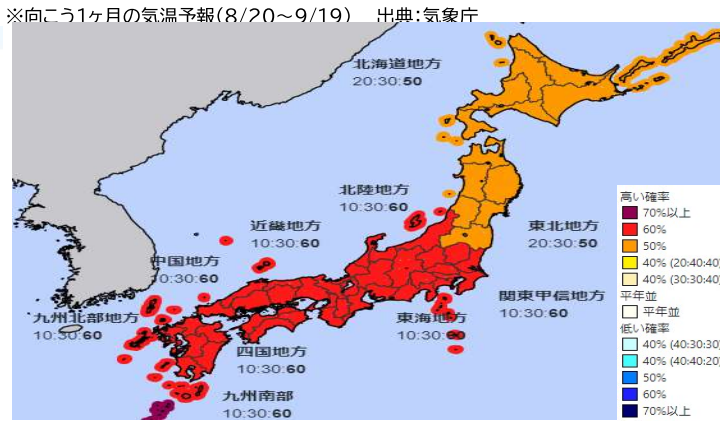
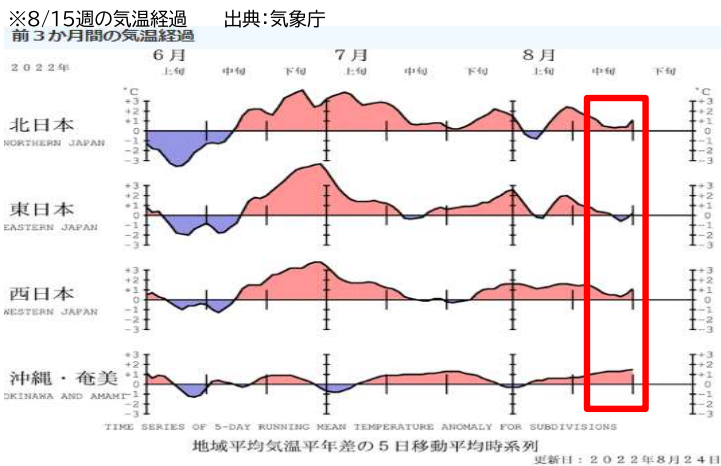
【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	6.27-	7.4-	7.11-	7.18-	7.25-	8.1-	8.8-	8.15-
ドリンクタイプ	➡	⬇	⬇	↗	➡	➡	➡	➡
個食タイプ	⬇	⬇	⬇	➡	⬇	➡	⬇	⬇
大容量タイプ	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇

- : 前年比90%未満
- : 前年比105%以上110%未満
- : 前年比90%以上100%未満
- : 前年比110%以上120%未満
- : 前年比100%以上105%未満
- : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

●参考



※「2022年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」